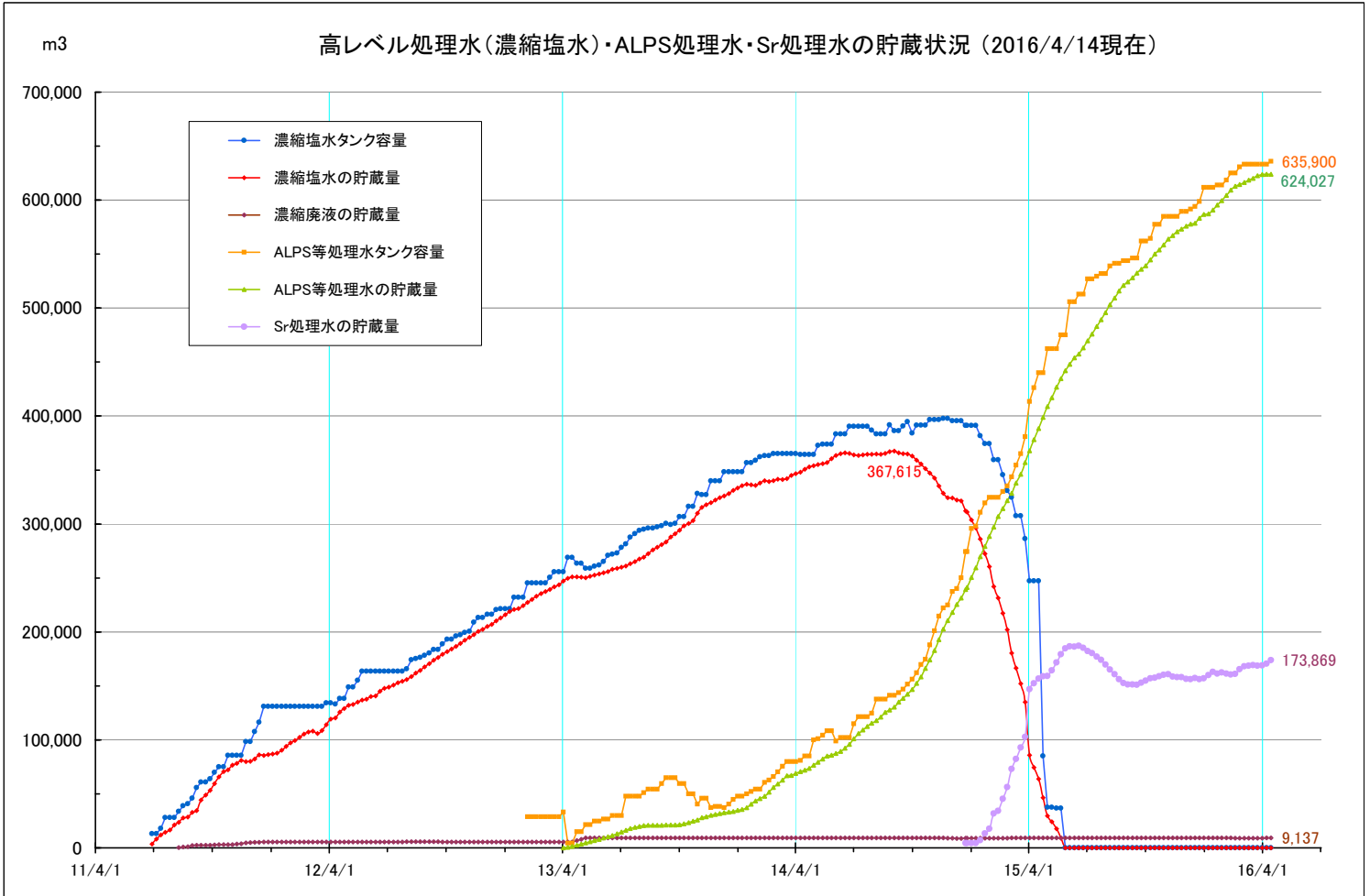
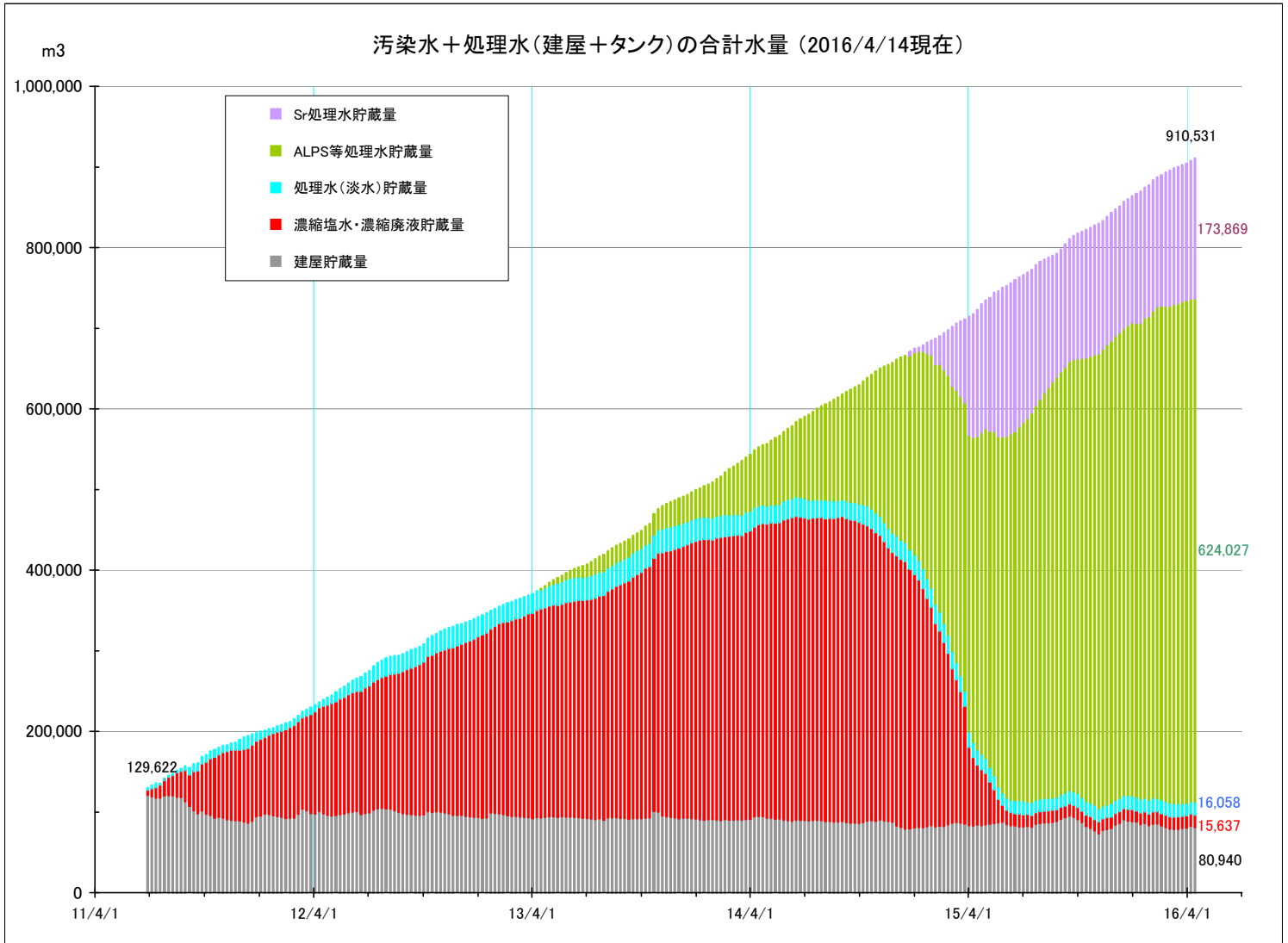


高レベル処理水(濃縮塩水)・ALPS処理水・Sr処理水の貯蔵状況(2016/4/14現在)



注: 毎週火曜時点の数値が、水曜日に公表される。

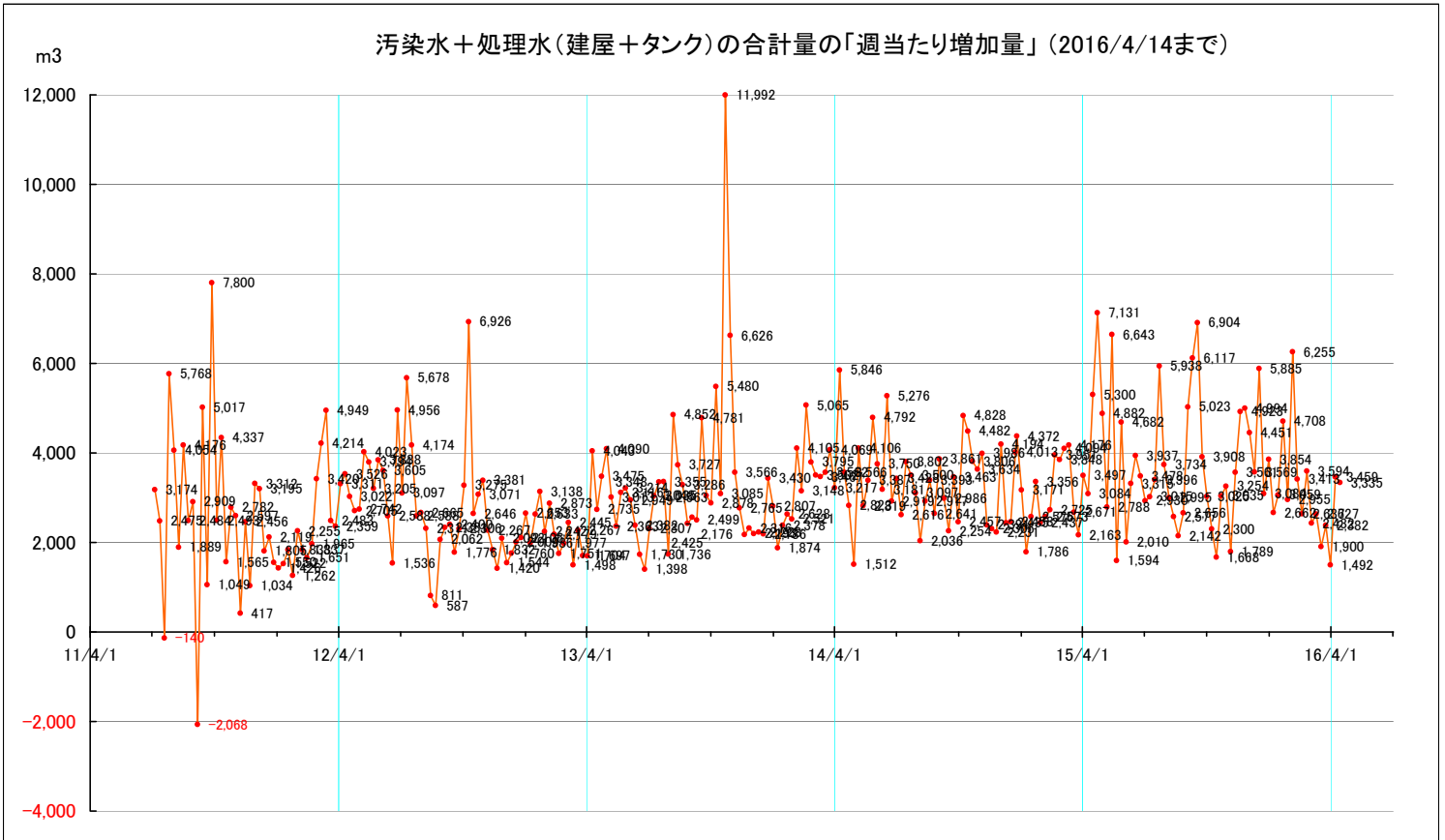
- 2013/1/8 地下貯水槽No.3 10,500m³を、濃縮塩水タンクに割当て。
 - 2013/2/1 地下貯水槽No.2 13,200m³を、濃縮塩水タンクに割当て。
 - 2013/4/5 地下貯水槽No.2からの水漏れを発見。(4/6 No.1とNo.6に移送開始)
 - 2013/4/6 地下貯水槽No.3からの水漏れを発見。
 - 2013/4/9 地下貯水槽No.1からの水漏れを発見。
 - 2013/4/9 地下貯水槽No.1, No.6の80%を濃縮塩水タンクに割当て、No.2, No.3の容量を80%に変更。
 - 2013/4/9 地下貯水槽No.1, No.5, No.6, No.7をALPS処理水タンクから除外。
 - 2013/4/16~22 地下貯水槽No.2から、「濃縮廃液貯槽(H2)」へ移送(約1,070m³)。
 - 2013/4/23 地下貯水槽No.2 13,200m³を、濃縮塩水タンクから除外。
 - 2013/4/23~26 地下貯水槽No.1から、「濃縮廃液貯槽(H2)」へ移送(約680m³)。
 - 2013/4/25~29 地下貯水槽No.1から、「ろ過水タンク」へ移送(約4,600m³)。
 - 2013/4/29~5/6 地下貯水槽No.1から、「濃縮廃液貯槽(H2)」へ移送(約1,570m³)。
 - 2013/5/7 地下貯水槽No.1 12,600m³?を、濃縮塩水タンクから除外。
 - 2013/5/7 ろ過水タンク 4,800m³を、濃縮塩水タンクに割当て。(注: 容量8,000m³を、60%容量制限)
 - 2013/5/18~6/3 地下貯水槽No.3から、G6タンクへ移送(約8,200m³)。
 - 2013/6/3~6/6 地下貯水槽No.3から、地下貯水槽No.6へ残水を移送(約200m³)。
 - 2013/5/21~6/9 地下貯水槽No.6から、G6タンクへ移送(約7,900m³)。
 - 2013/6/11 地下貯水槽No.3 8,800m³?(水位上限80%)と、地下貯水槽No.6 8,000m³?(水位上限80%)を濃縮塩水タンクから除外。
 - 2013/6/11 G6タンク(?)m³を、濃縮塩水タンクに割当て。(6/5に漏洩が確認されたG6-No.9は、貯蔵量と同じ140m³)。
 - 2013/6/25 ろ過水タンクの容量を4,800→4,600m³に変更?
 - 2013/7/9 注水タンク(CST)運用開始(容量1,800m³、貯水量は公表されていないため、数字に含まれていない。)
 - 2013/8/9 地下水ビットからのくみ上げを開始(2号機立坑Cへ移送。)
 - 2013/8/15 ウェルポイントからのくみ上げを開始(2号機立坑Cへ移送。)
 - 2013/8/19 H4エリアタンクからRO汚染水漏れを発見(約300m³)
 - 2013/8/23 ウェルポイント(28箇所)設置完了(8/24から、2号機T/Bへ移送。)
 - 2013/9/16 台風によるタンクエリアの雨水を回収(一部は放流)
 - 2013/9/17 H3エリアNo.10タンク(H3-A-No.10)を、濃縮塩水タンク容量から除外(1,100m³)。
 - 2013/10/28 時事通信によれば、地下貯水槽(No.4, No.7)の汚染水は、1,600m³増えて3,700m³になった。
 - 2014/1/21 地下貯水槽(No.4, No.7)の汚染雨水、ノッチタンクの汚染雨水を、モバイル装置で除染して放流する申請を(東電が)提出 → 2014/4/28認可。
 - 2014/1/24 汚染水WG資料によれば、地下貯水槽(No.4, No.7)の汚染雨水は3,600m³、ノッチタンクの汚染雨水は3,000m³。
 - 2014/3/18 ALPS(B系統)トラブルのため、高濃度の汚染水がALPS処理水タンク(J1エリア)に流入。
 - 2014/4/9 地下水バイパスの汲み上げを開始。(5/21 海洋放出を開始)
 - 2014/5/21 汚染雨水のモバイル処理による敷地内散水を開始。
 - 2014/11/25 2号機海水配管トレンチの充填作業を開始(トレンチの水位が上がらないよう、2号機T/Bに移送)。
 - 2015/2/22 側溝排水モニター「高高」警報。
 - 2015/4/16までは、濃縮塩水タンク容量には、ろ過水タンク(4,600m³)を含む。
- このほか、トレンチ内に汚染水が、約14,000m³存在していたが、2014年末～、海水配管トレンチについては順次、移送、充てんを実施。
- 2015/4/28 4号機海水配管トレンチの滞留水(約660m³)の移送を完了。
 - 2015/6/30 2号機海水配管トレンチの滞留水(約4,500m³)の移送を完了。 [2015/6/30 東電公表](#)
 - 2015/7/30 3号機海水配管トレンチの滞留水(約5,500m³)の移送を完了。 [2015/7/30 東電公表](#)
 - 2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。
 - 2015/9/22 海側遮水壁の鋼管矢板の打設を完了。(2015/10/26 閉塞完了)
 - 2015/10/5 地下水ドレンの試験運用を開始。



タンクエリア堰内水用ノッチタンク群(容量4,000m³)、地下貯水槽No.4、No.7(一時的使用)に、計7,600m³の汚染雨水が存在していた(2014/1/24資料)。
 タンクエリア堰内水用ノッチタンク群(容量4,000m³)、地下貯水槽No.4、No.7(一時的使用)に、計3,920m³の汚染雨水が存在している(2014/8/26時点)。
 タンクエリア堰内水用ノッチタンク群(容量4,000m³)、地下貯水槽No.4、No.7(一時的使用)に、計2,340m³の汚染雨水が存在している(2014/10/30資料、グラフもあり)。
 このほか、トレンチ内に汚染水が、約14,000m³存在していたが、2014年末～、海水配管トレンチについては順次、移送、充てんを実施。
 2015/4/28 4号機海水配管トレンチの滞留水(約660m³)の移送を完了。
 2015/6/30 2号機海水配管トレンチの滞留水(約4,500m³)の移送を完了。
 2015/7/30 3号機海水配管トレンチの滞留水(約5,500m³)の移送を完了。

[2015/6/30 東電公表](#)
[2015/7/30 東電公表](#)

図3a



増加量の大きすぎる(or 小さすぎる)週については、何らかの事情(評価法の変更など)があるのかもしれないが、今のところ理由は不明。
2014/2/4の水量増加が大きいのはいレギュラーな事象だが、理由は不明。

図3b

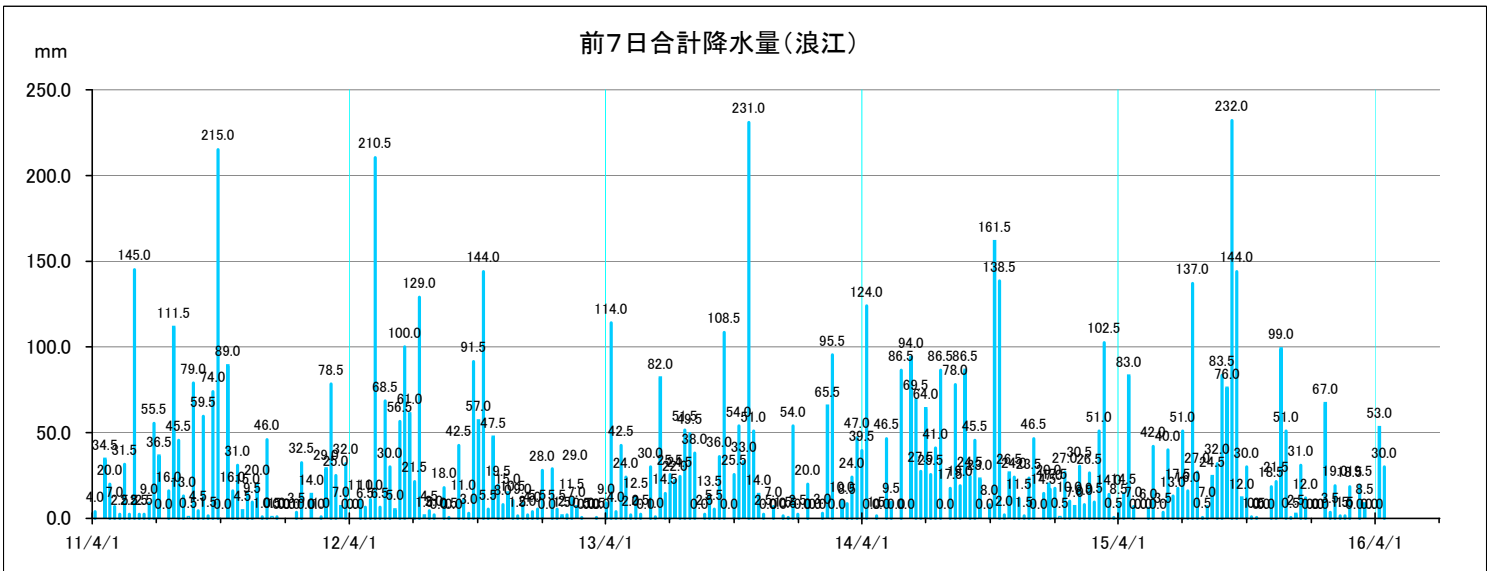
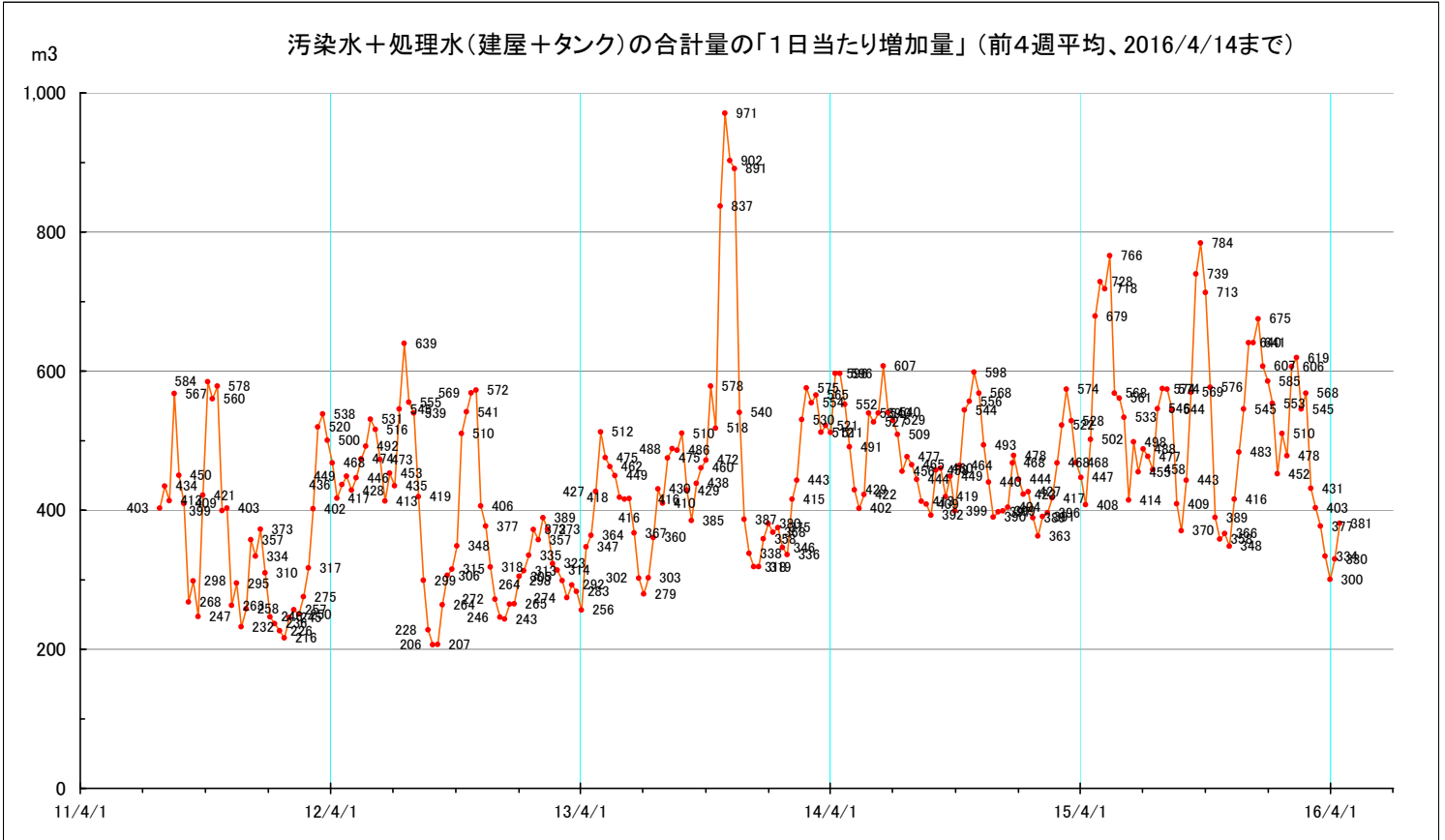


図4a



冬(11月～3月)は少ない → 春・梅雨時(4月～7月)は多い → 盛夏(8月)は少ない → 秋(9～10月)は多い
 2013/7/9 注水タンク(CST)運用開始(容量1,800m3、数字に含まれていない)の影響があるかもしれない。
 2013/8/9 地下水ピットからのくみ上げを開始(2号機立坑Cへ移送。)
 2013/8/15 ウェルポイントからのくみ上げを開始(8/24から、2号機T/Bへ移送。)
 2013/9/16 台風によるタンクエリアの雨水を回収(一部は放流)
 2013/10/16 台風によるタンクエリアの雨水を回収(一部は放流)
 2013/10/20 大雨によるタンクエリアの雨水を回収(一部は放流)

図4b

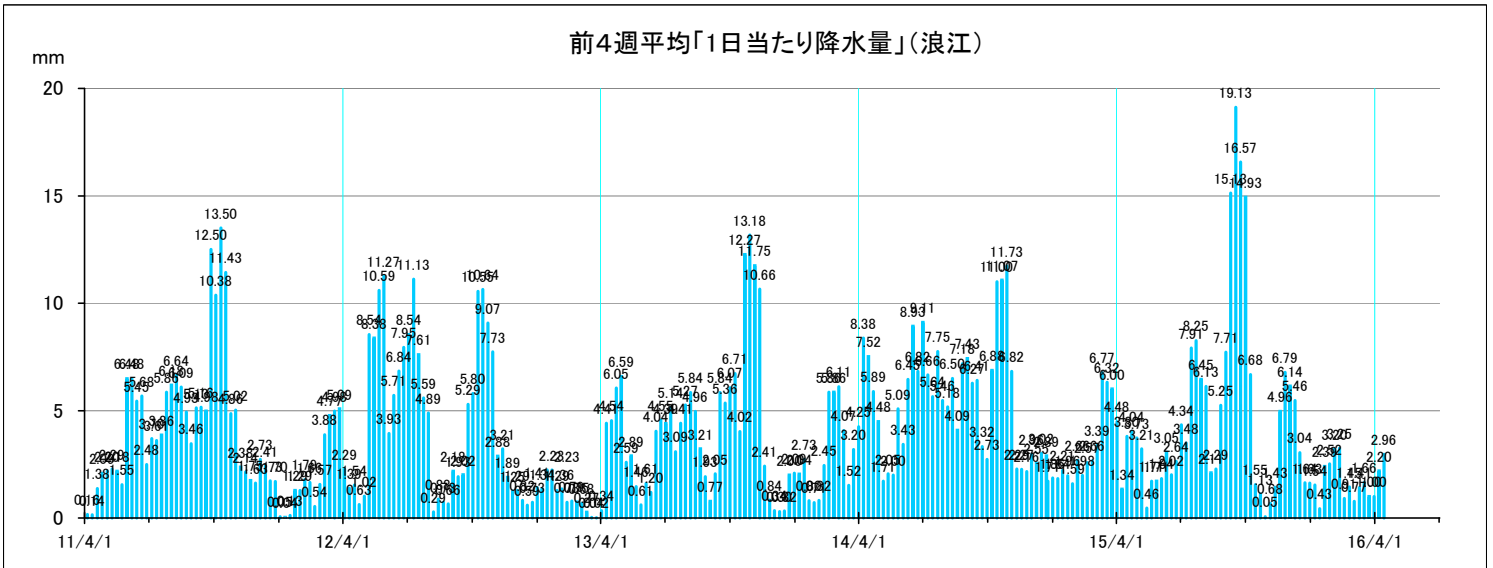


図5a

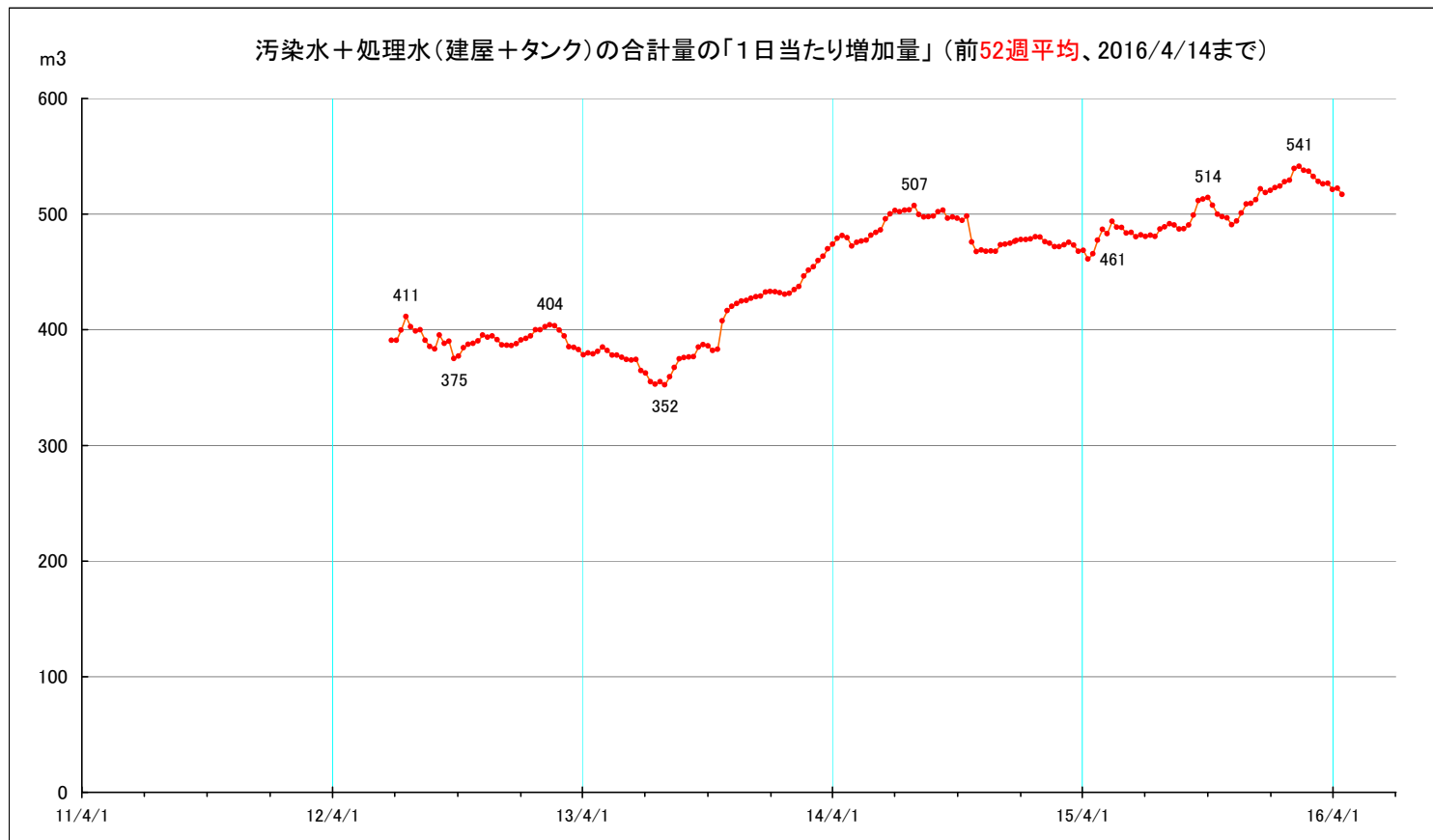
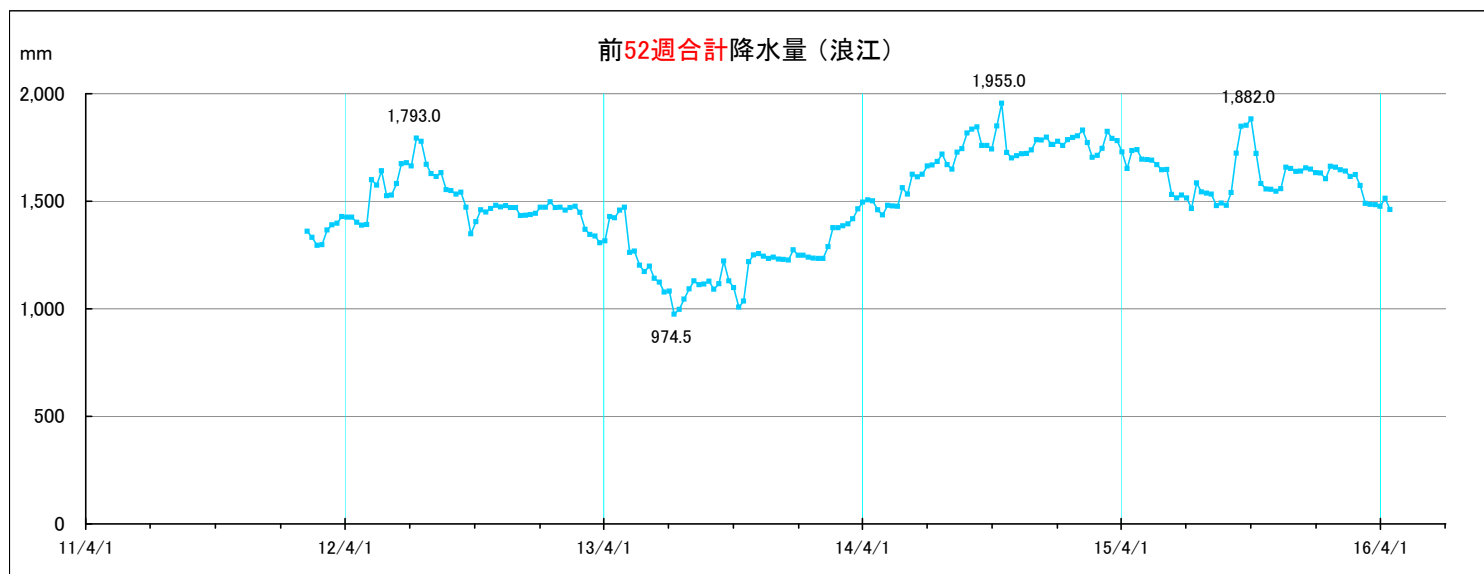
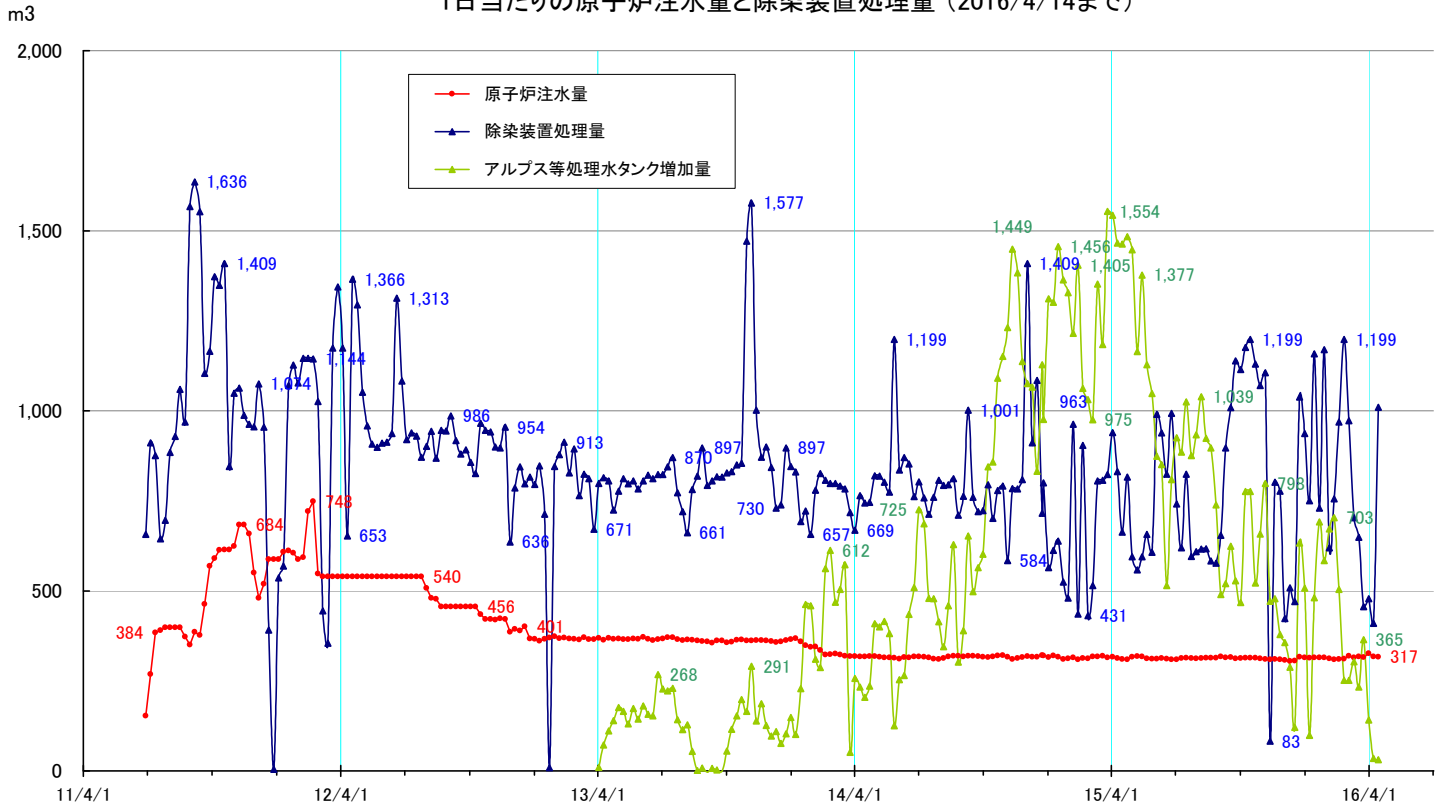


図5b



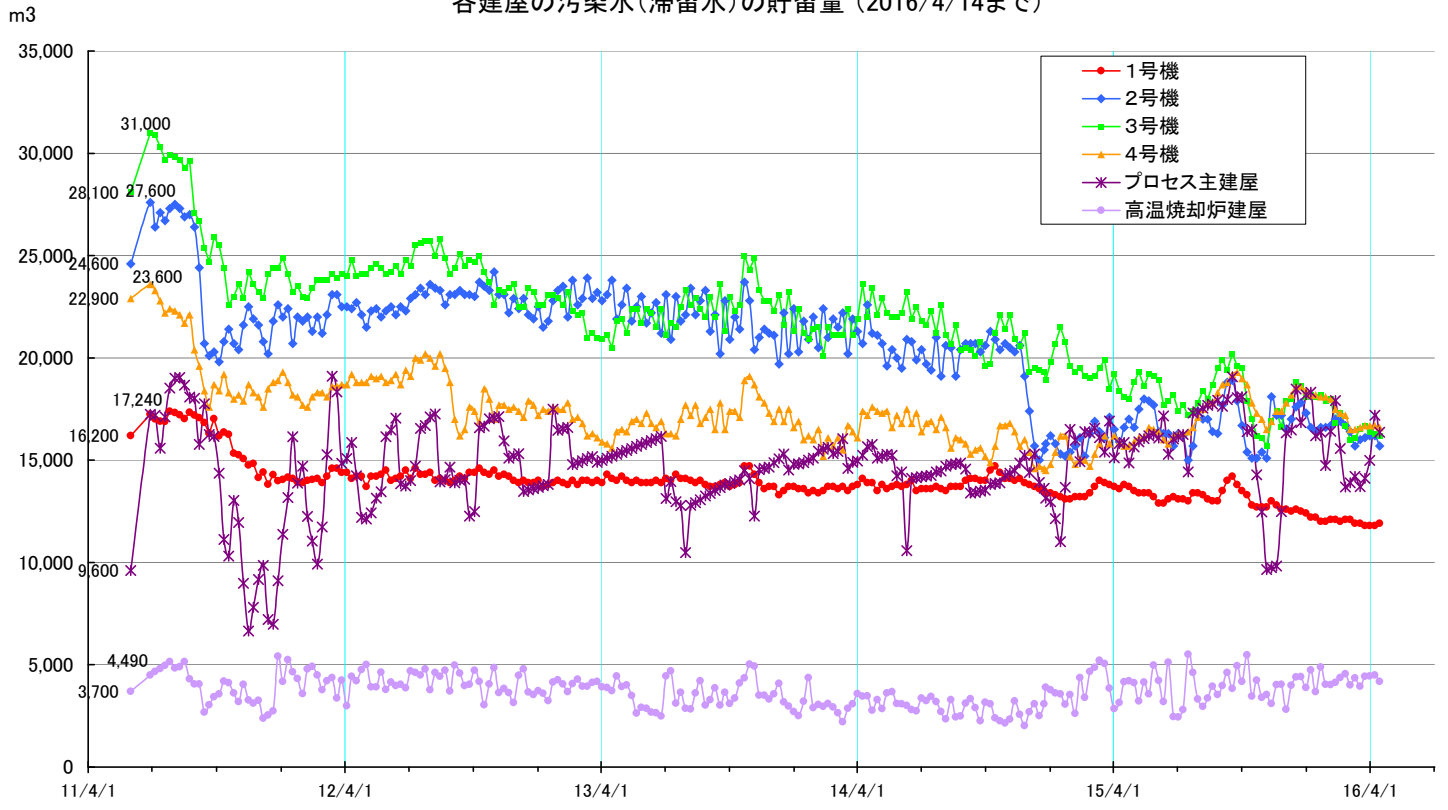
1日当たりの原子炉注水量と除染装置処理量 (2016/4/14まで)



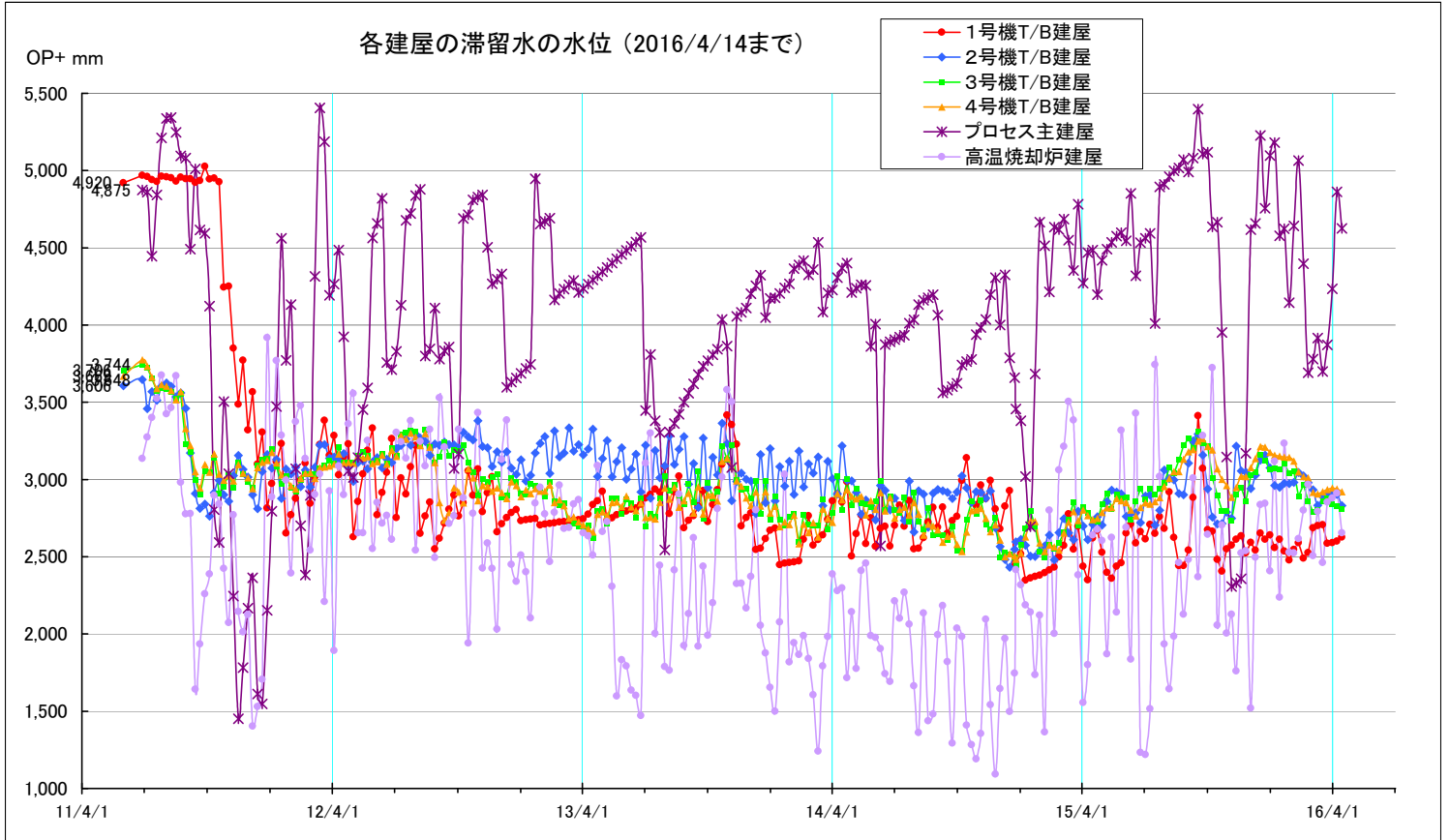
- 2013/3/30 ALPS(A系統)ホット試験開始 → 2013/6/16停止
- 2013/6/13 ALPS(B系統)ホット試験開始 → 2013/8/8 12:25 停止
- 2013/9/27 0:04 ALPS(C系統)ホット試験開始 → 9/27 22:37 停止 → 9/30 2:38 運転再開
- 2013/10/4 6:43 ALPS(C系統)停止 → 10/4 18:31起動
- 2013/10/5 13:58 ALPS(C系統)汚染水受け入れ停止 → 10/8 22:30 受け入れ・処理を再開
- 2013/10/28 10:08 ALPS(A系統)ホット試験再開
- 2013/11/3 5:08 ALPS(C系統)腐食対策有効性確認のため停止 → 11/18 10:17 ホット試験を再開
- 2013/11/6 8:40 ALPS(A系統)制御系改造工事のため停止 → 11/4 14:01 運転再開
- 2013/11/21 10:00 ALPS(B系統)ホット試験再開
- 2013/11/29 12:40 ALPS(A系統)腐食対策有効性確認のため停止 → 12/19 11:45 運転再開
- 2013/12/10 7:30 ALPS(C系統)制御系改造工事のため停止 → 12/13 17:37 運転再開
- 2013/12/11 9:50 ALPS(B系統)制御系改造工事のため停止 → 12/13 17:22 運転再開
- 2014/1/25 03:22 ALPS(B系統)腐食対策有効性確認のため停止 → 2/12 13:10 運転再開
- 2014/3/18 12:04 に停止したALPS(B系統) 出口水から 10^{-7} Bq/Lの全βを検出。13:39にA系統・B系統も停止 → 3/26 16:03 A系処理再開、同日 16:05 C系処理再開
- 2014/3/27 10:42 ALPS(A系統) 出口水白濁のため待機運転 → 4/23 20:24 運転再開
- 2014/5/17 9:00 ALPS(A系統) 出口水白濁のため待機運転 → 6/9 10:14 運転再開
- 2014/5/20 9:00 ALPS(C系統) 出口水白濁のため待機運転 → 6/22 9:00 運転再開
- 2014/5/23 12:48 ALPS(B系統) 処理運転を再開
- 2014/7/8 13:39 ALPS(A系統)ガスケット犠牲陽極設置のため待機運転 → 7/15 17:09 運転再開
- 2014/7/21 22:00 ALPS(B系統)ガスケット犠牲陽極設置・鉄共沈CFFガスケット交換のため待機運転 → 8/1 14:24 運転再開
- 2014/8/3 15:00 ALPS(A系統)鉄共沈CFFガスケット交換のため待機運転 → 8/10 10:07 運転再開
- 2014/8/20 高性能ALPSの検証試験を開始
- 2014/9/17 10:57 増設ALPS(A系統)ホット試験開始
- 2014/9/21 22:00 ALPS(C系統)鉄共沈CFFガスケット交換のため待機運転 → 9/30 15:02 運転再開
- 2014/9/26 15:52 ALPS(B系統) 出口水白濁のため待機運転 → 10/23 17:42 運転再開
- 2014/9/27 10:45 増設ALPS(B系統)ホット試験開始
- 2014/10/2 14:46 モバイル型ストロンチウム除去装置が運転開始
- 2014/10/9 10:23 増設ALPS(C系統)ホット試験開始
- 2014/10/18 10:43 高性能ALPSホット試験開始
- 2014/11/30 10:06 増設ALPS(A～C系統)制御系改造のため停止 → 12/3 20:55 運転再開
- 2014/12/9 22:03 ALPS(A～C系統)制御系改造のため停止 → 12/14 17:53 運転再開
- 2014/12/26 サリールによるSr除去が開始(2015/1/19から、Sr処理水として貯蔵)
- 2015/1/10 キュリオンによるSr除去が開始(？から、Sr処理水として貯蔵)
- 2015/1/10 10:18 RO濃縮水処理設備が運転開始
- 2015/2/10 10:47 モバイル型ストロンチウム除去装置(B系統)が運転開始
- 2015/2/20 14:41 第二モバイル型ストロンチウム除去装置(装置1・2)が運転開始
- 2015/2/27 14:16 第二モバイル型ストロンチウム除去装置(装置3)が運転開始
- 2015/8/26 19:37 高性能ALPSを一時停止(H8エリアタンクSr処理水の処理を完了したため)
- 2015/11/2 1:21 高性能ALPSの堰内で漏えい(約50L)を確認したため、停止。

図7

各建屋の汚染水(滞留水)の貯留量 (2016/4/14まで)

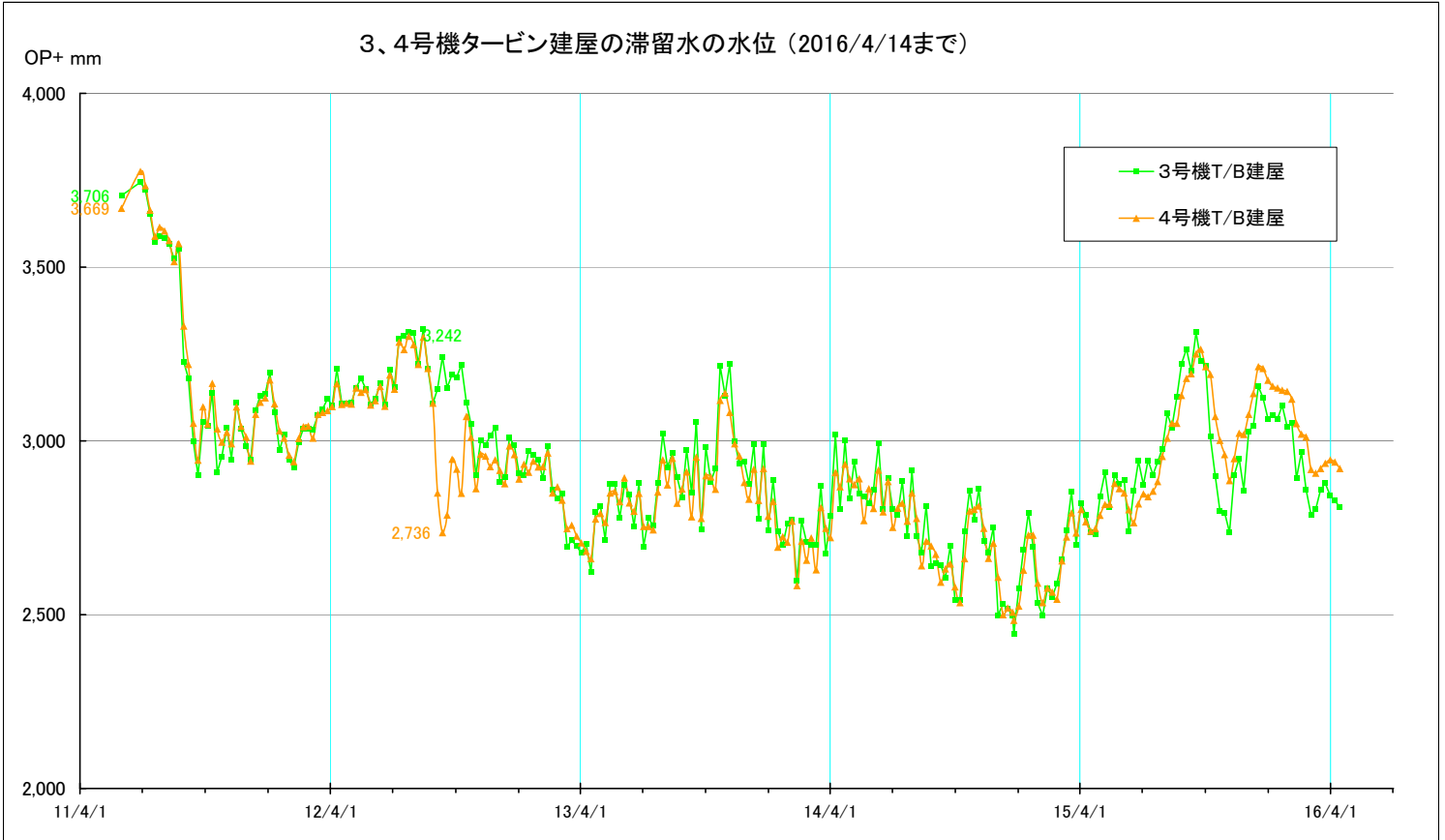


メモ: 復水器は1号機 1,600m³、2・3号機 3,000m³

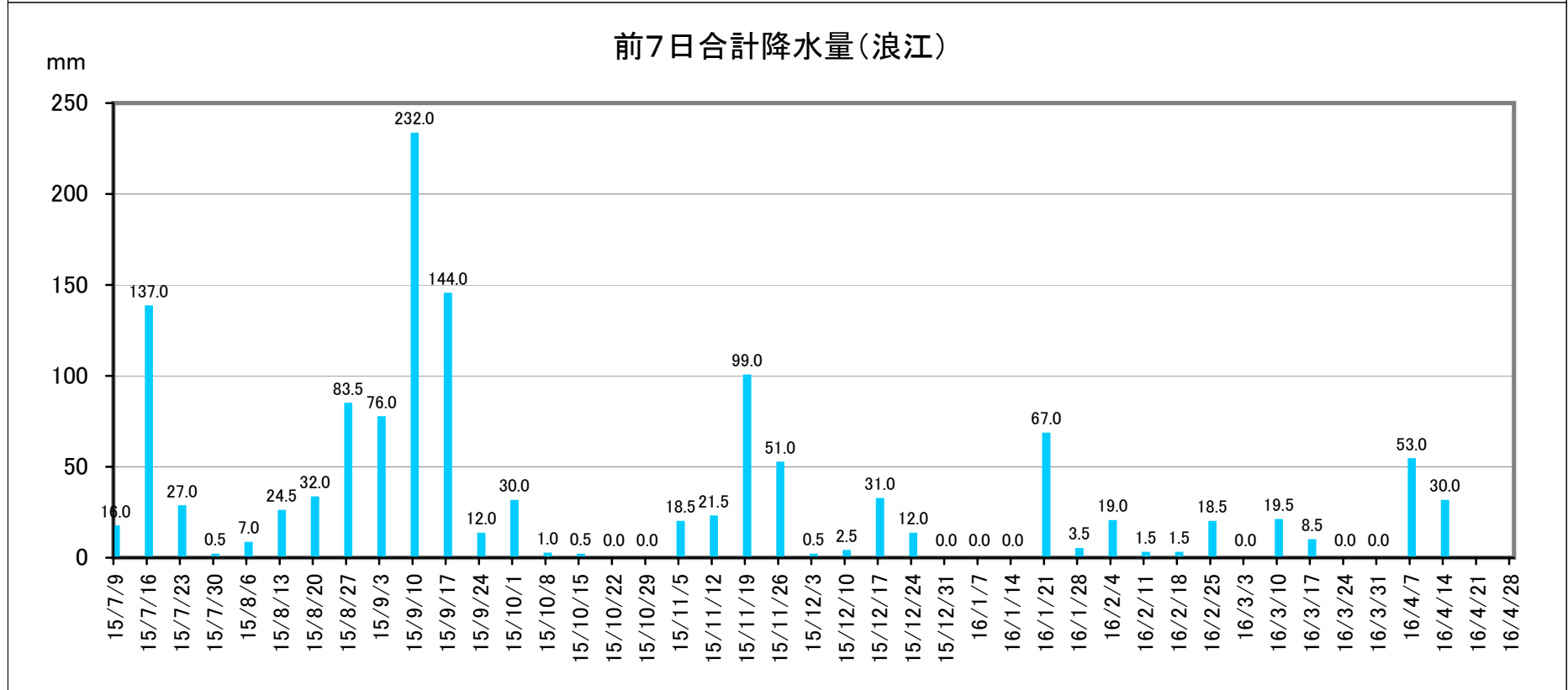
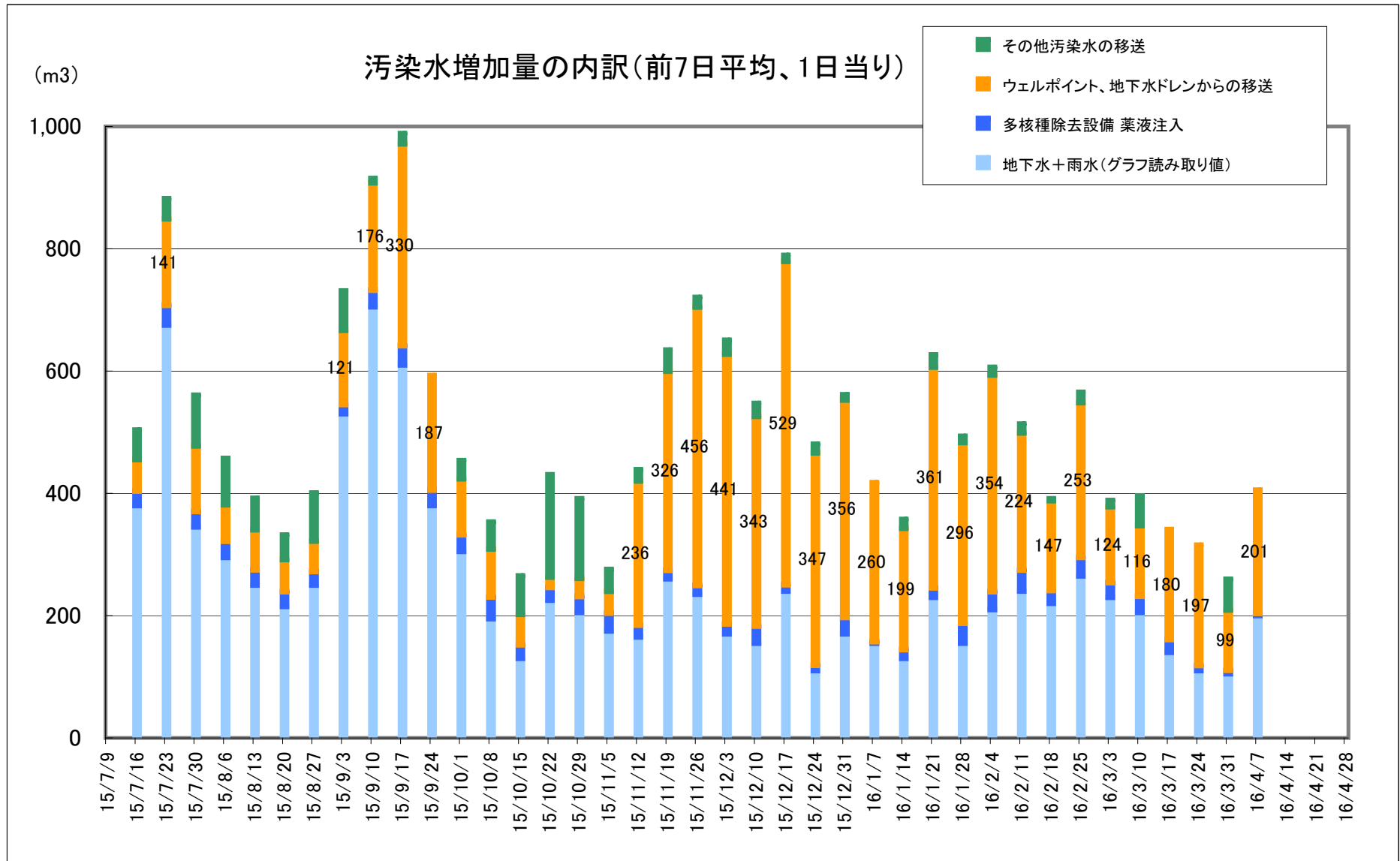


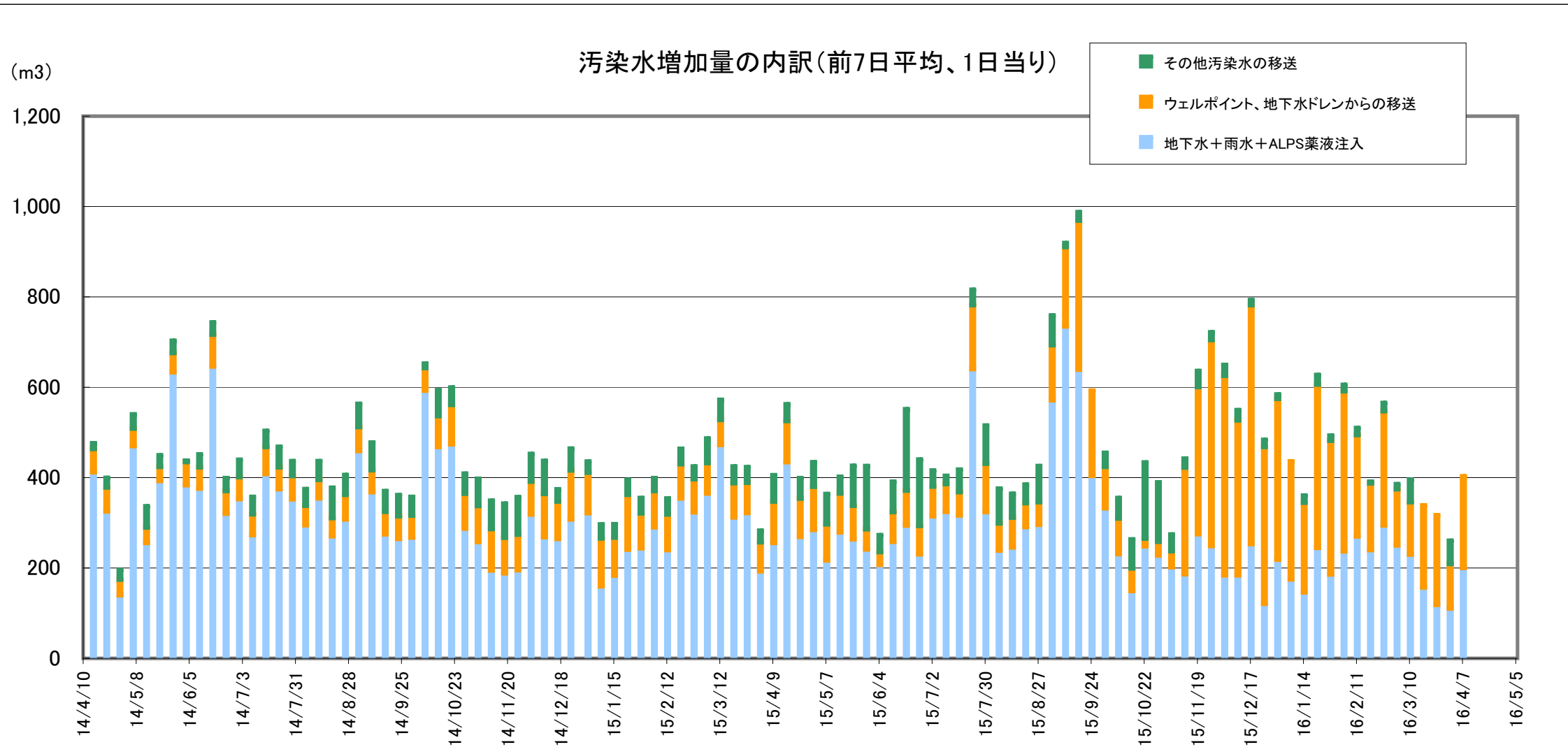
メモ: 1~4号機T/B建屋は、OP+3,500以下になるよう運用。プロセス建屋は OP+5,600以下、高温焼却炉建屋は OP+4,200以下で運用。

3、4号機タービン建屋の滞留水の水位 (2016/4/14まで)

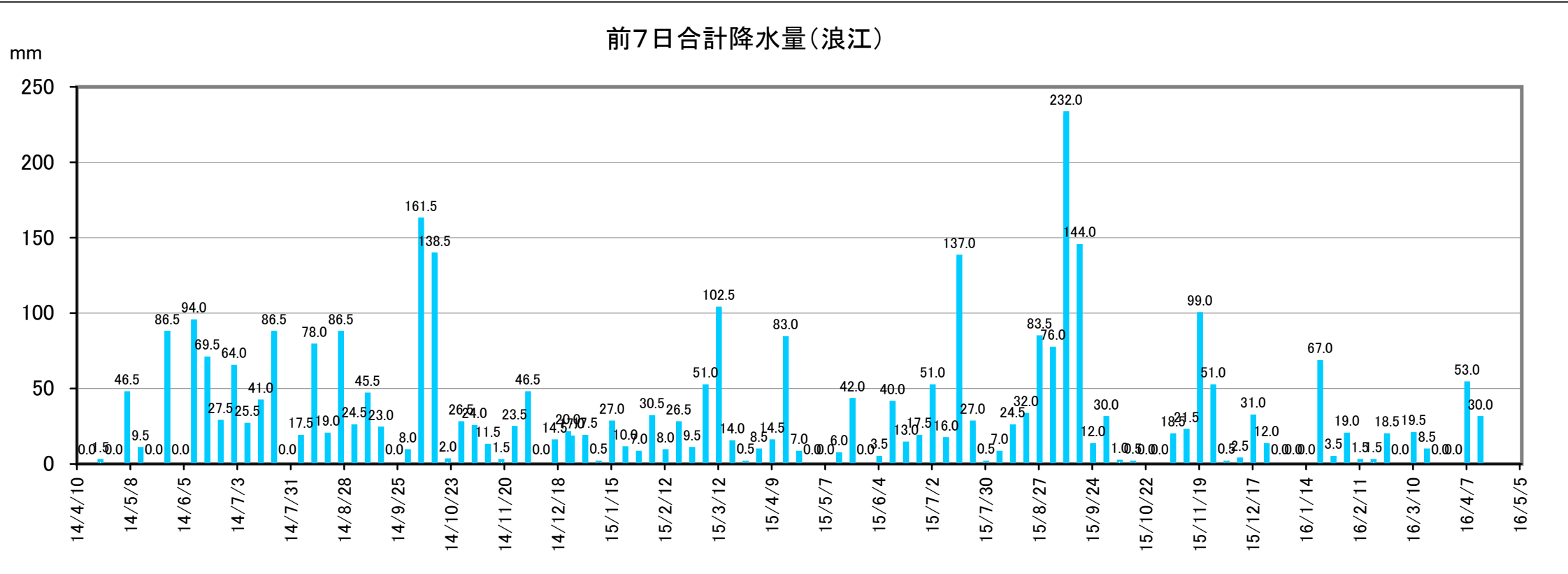


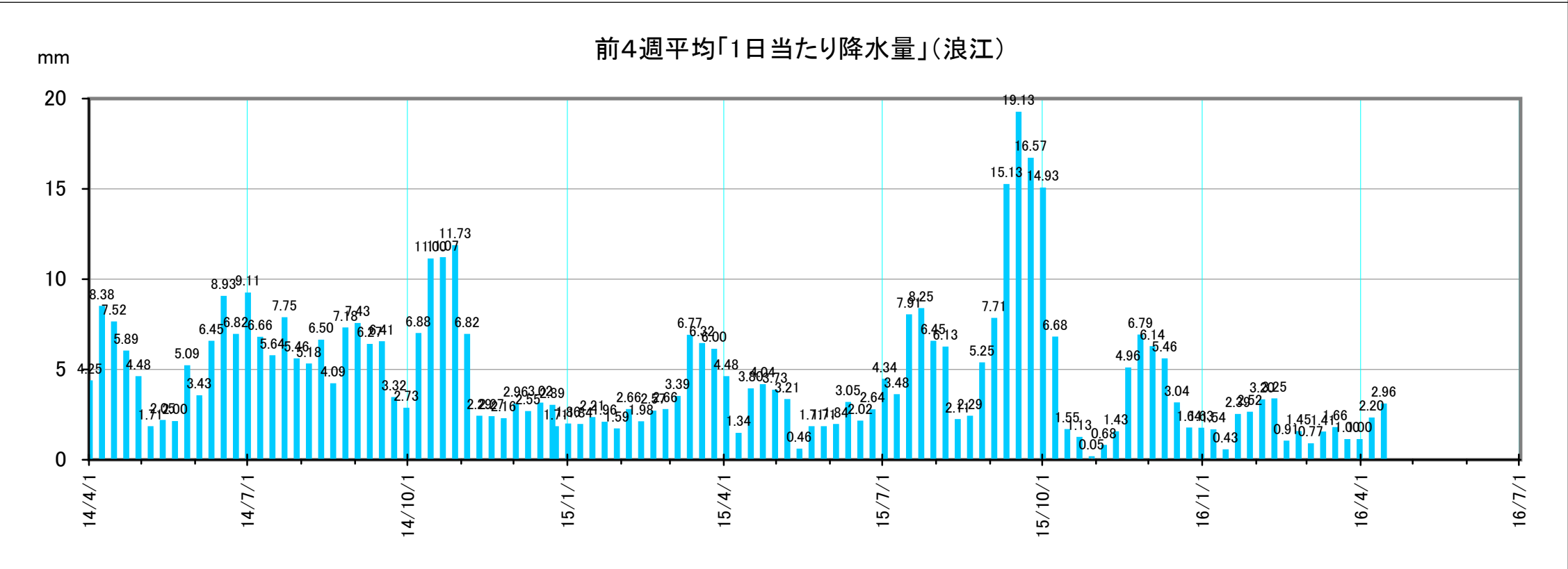
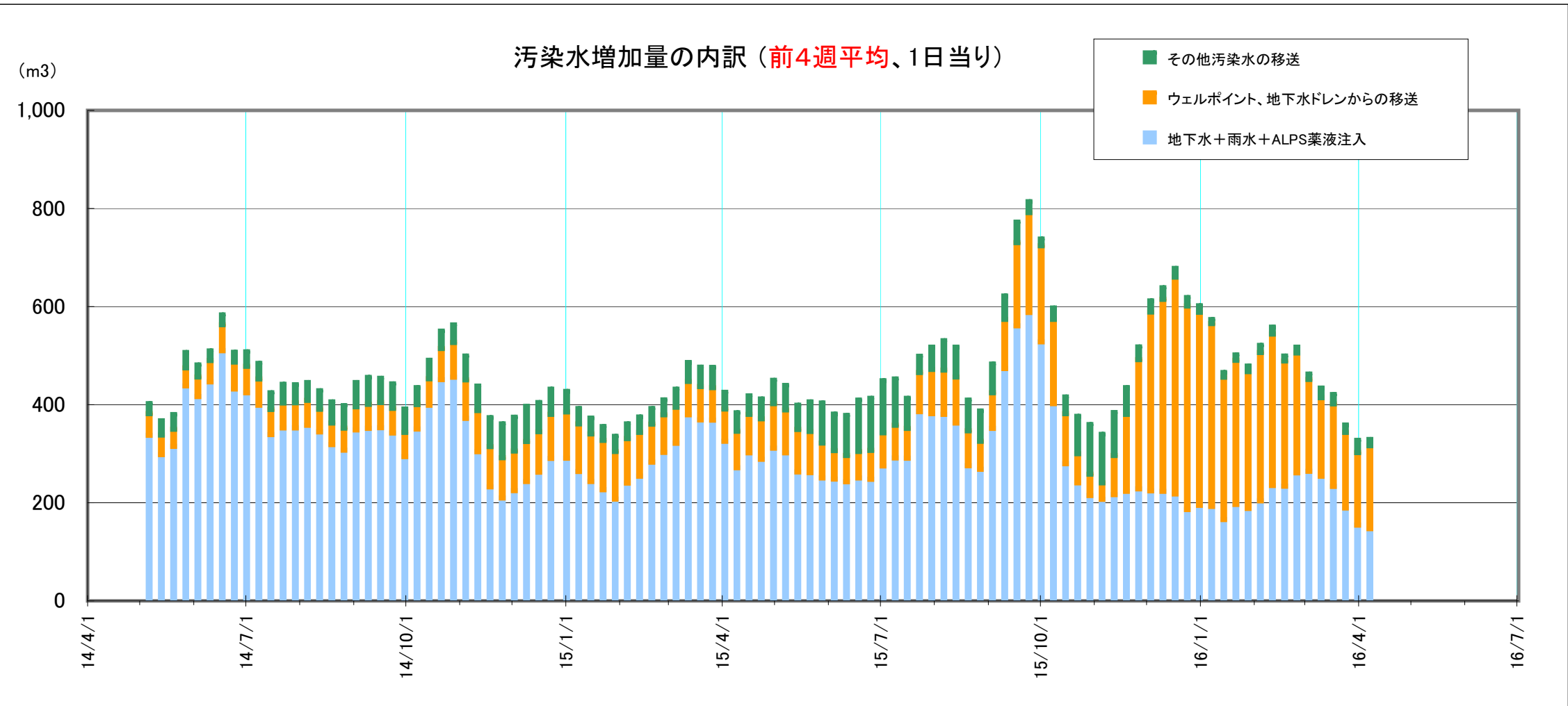
3号機、4号機タービン建屋の水位はほとんど連動しているが、2012年の9～10月にかけては大きくずれている。

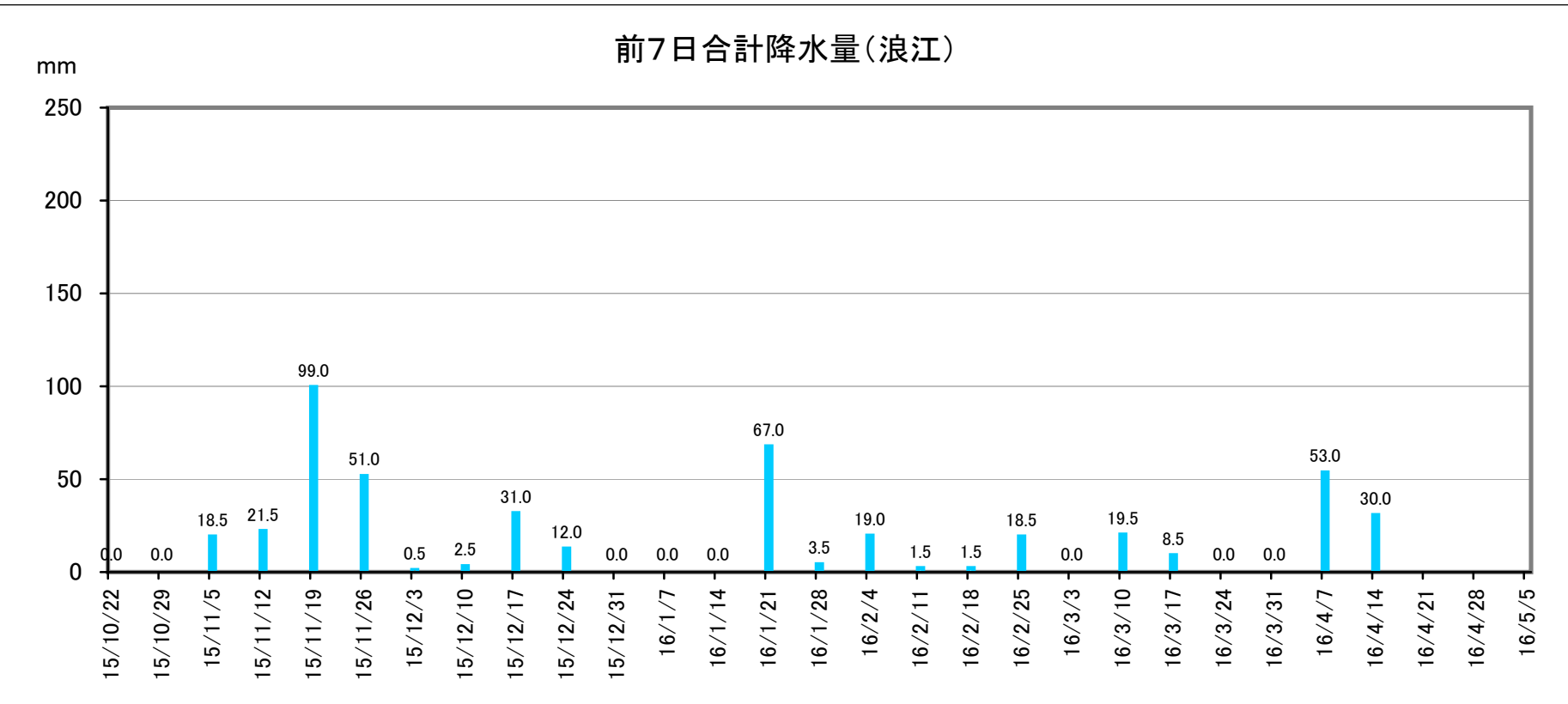
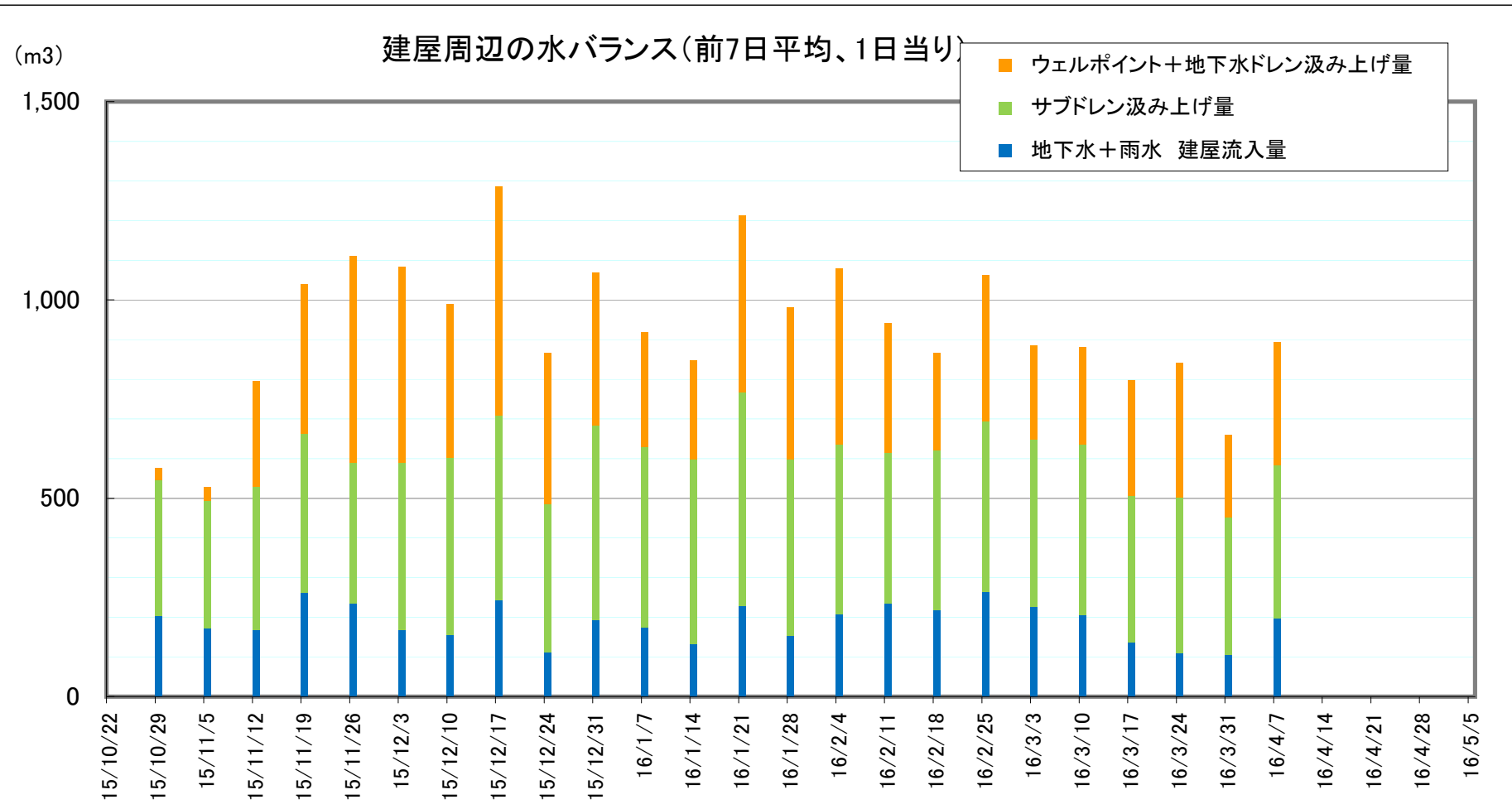




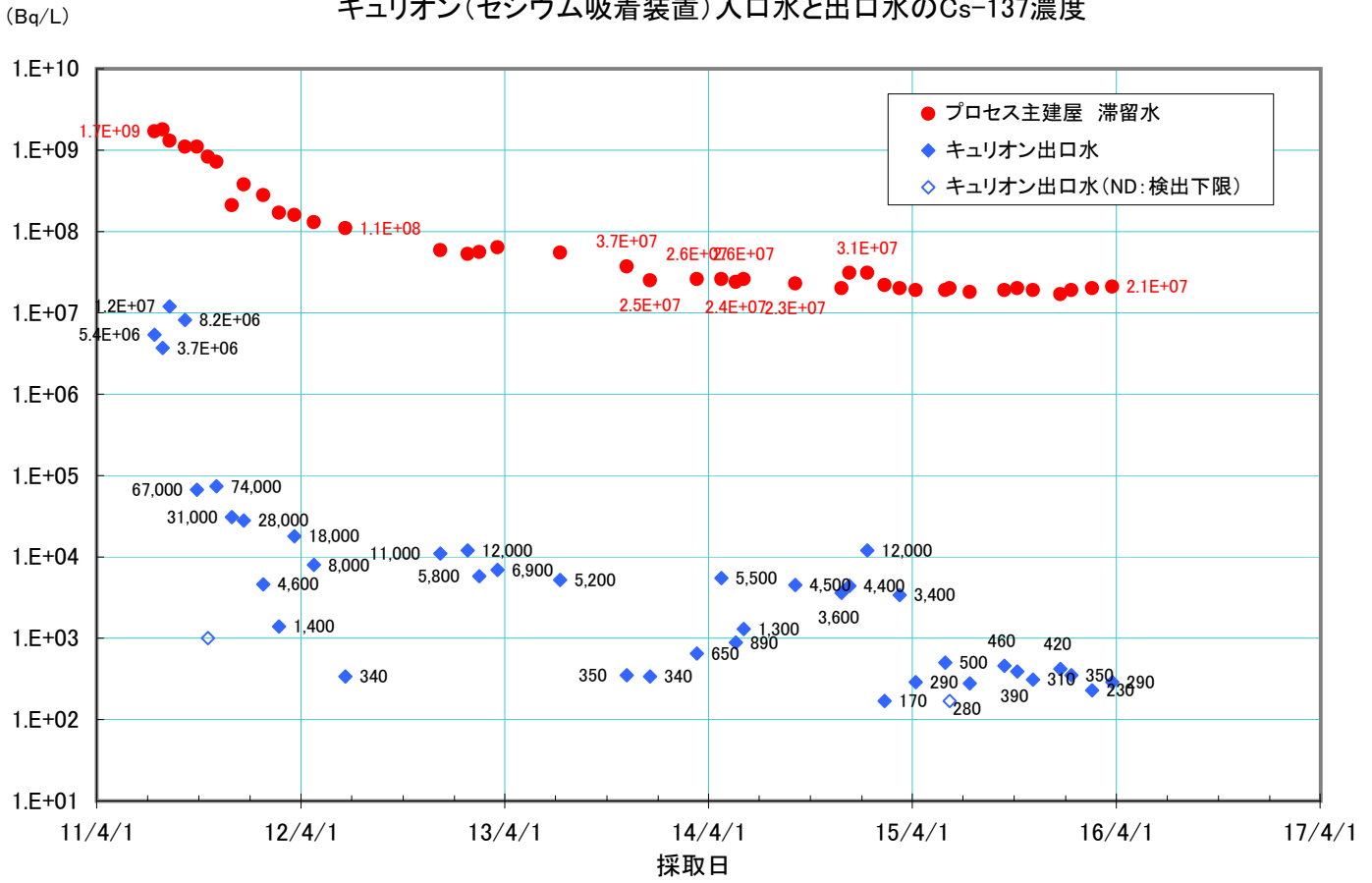
注: 地下水+雨水の量は、タンク水位、建屋水位からの推定なので誤差が大きいことに注意。



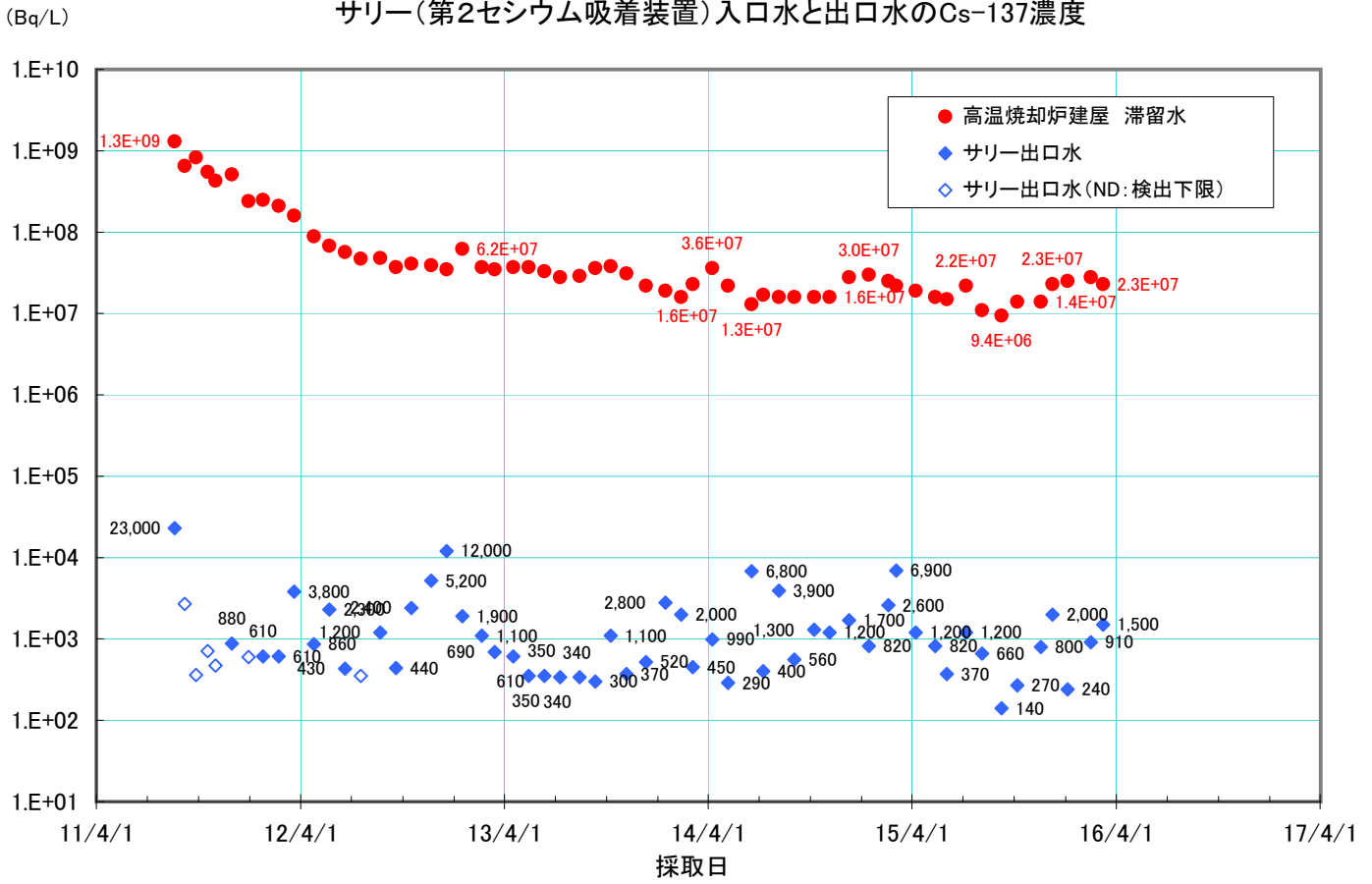




キュリオン(セシウム吸着装置) 入口水と出口水のCs-137濃度

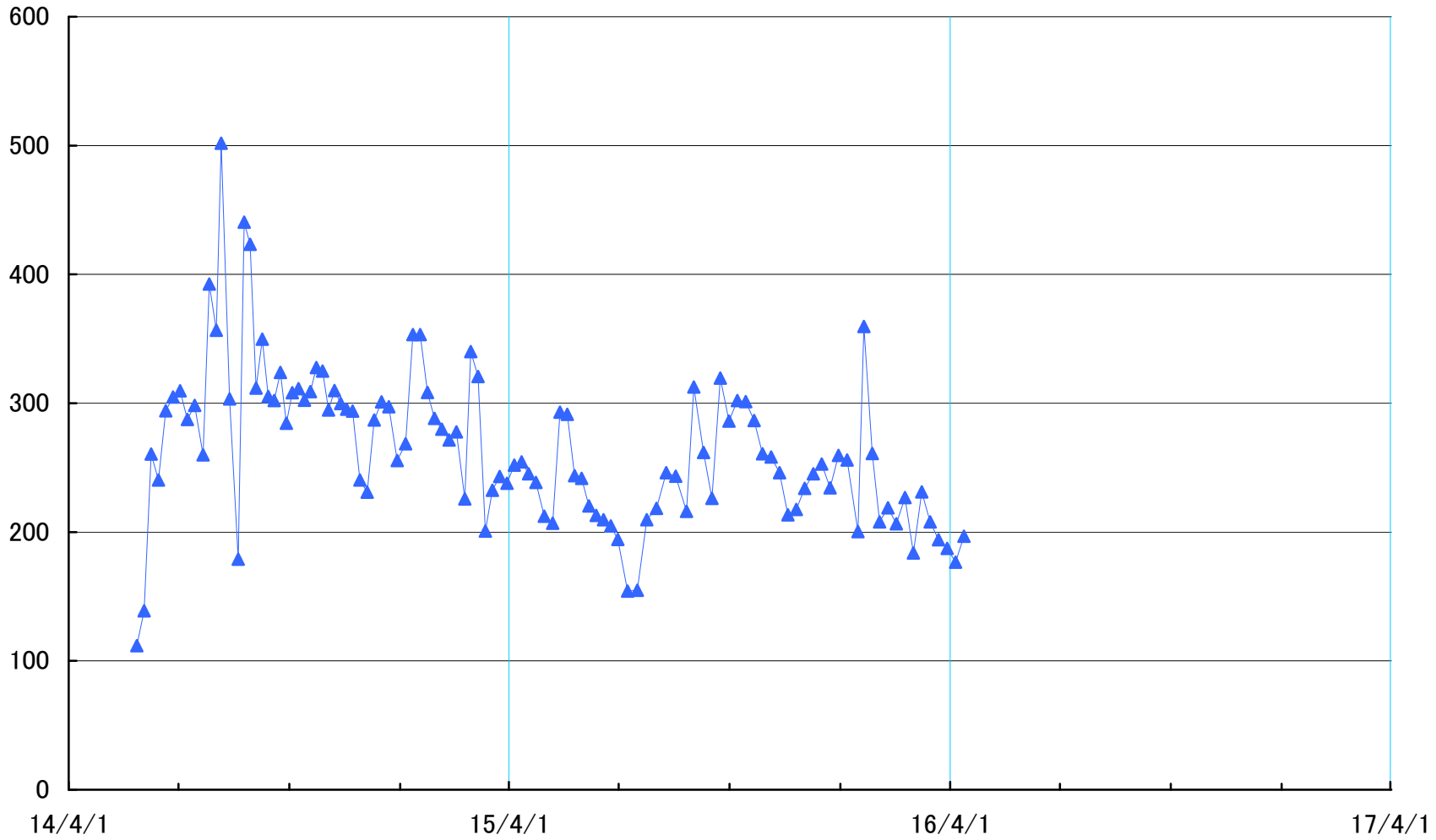


サリー(第2セシウム吸着装置) 入口水と出口水のCs-137濃度



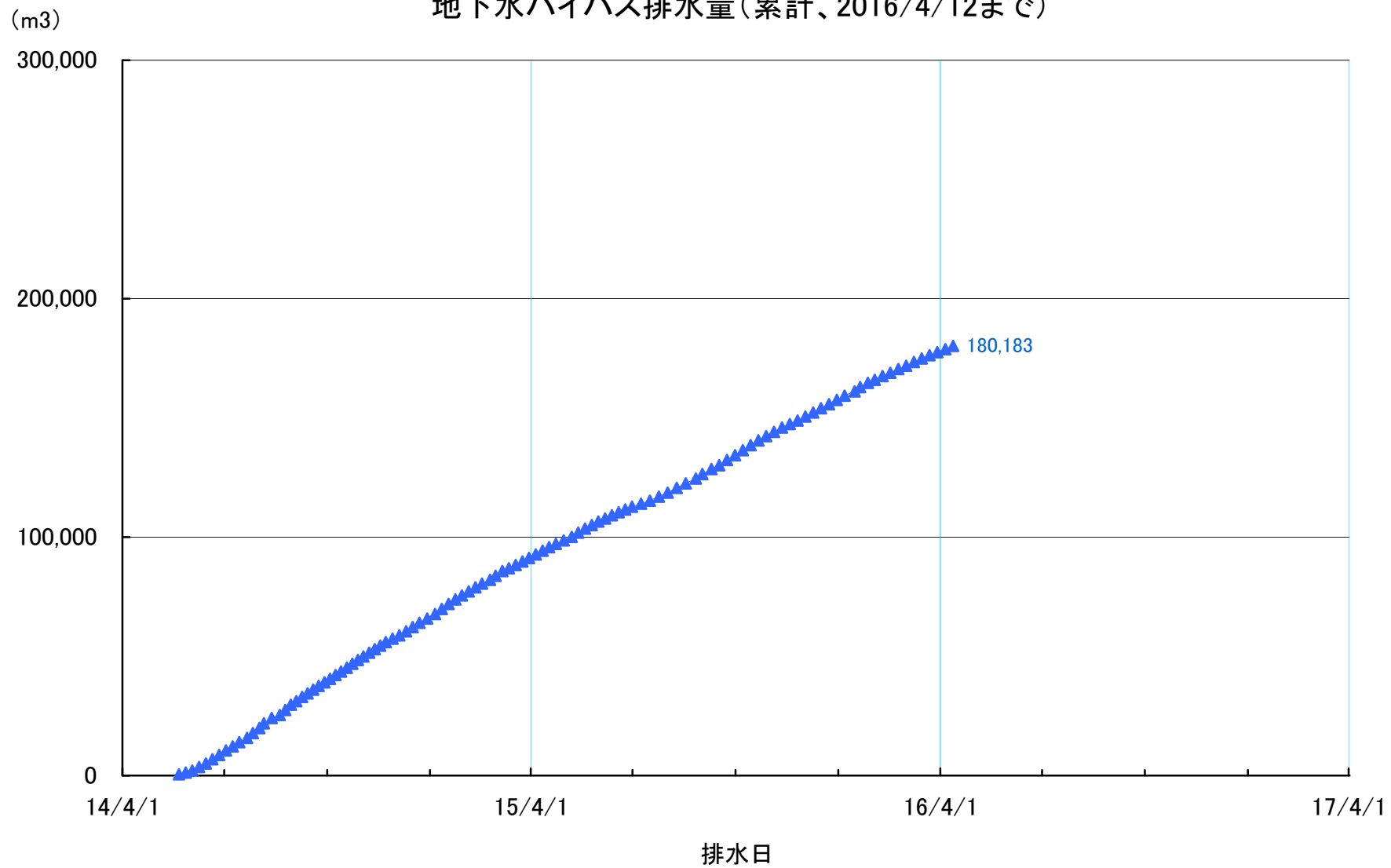
地下水バイパス排水量(1日当たり、2016/4/12まで)

(m3)



排水日

地下水バイパス排水量(累計、2016/4/12まで)



地下水バイパス経由のトリチウム排出量(累計、2016/4/12まで)

